

決算を認定

歳出総額 123億2千万円

令和3年第5回定例議会は、9月6日から16日まで、11日間の会期で開かれた。
開会日は、一般会計補正予算（第4号）ほか12議案が提案され、各委員会において審査を行った。
15日に一般質問を行い、最終日は7議案を追加して審議し、いずれも原案どおり可決・同意して閉会した。

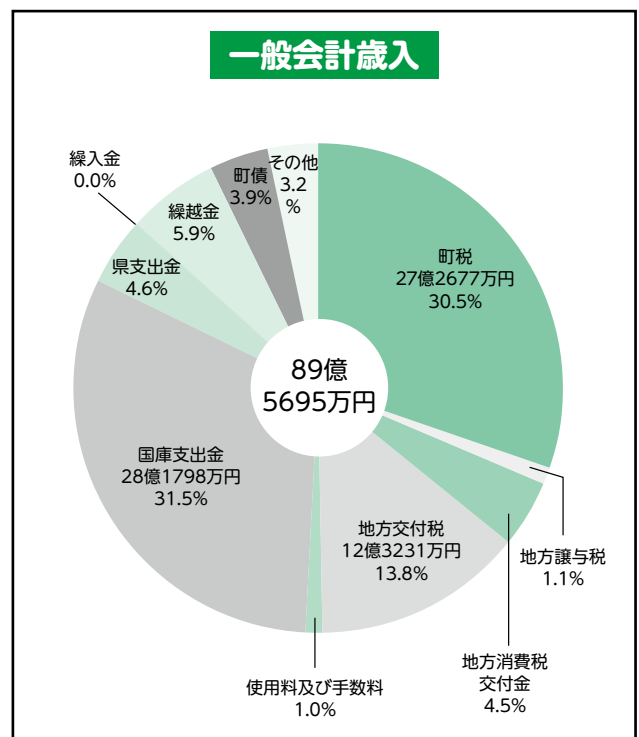
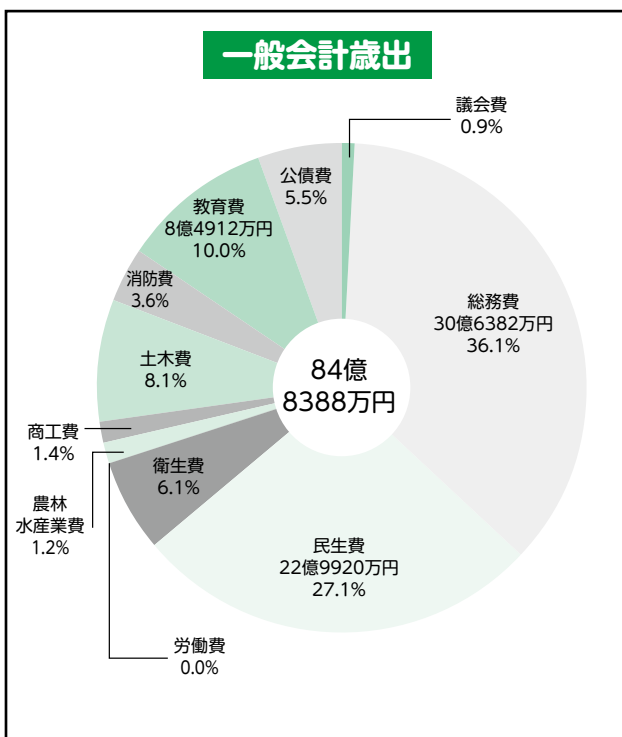
令和2年度一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、障がい福祉サービス事業、公共下水道事業、学校給食事業）の決算及び水道事業会計決算は、総務建設常任委員会、民生文教常任委員会へ審査が付託された。

各委員会では、議決された予算が効率的に執行されたかどうか、それによって、どのような行政効果が発揮できたのかなどを審査した。

その結果、委員会として「認定すべきもの」と決定し、各常任委員長より審査報告書が提出され、全会一致で認定した。

令和2年度各会計の決算額

会計区分	歳入	歳出	
一般会計	89億5695万円	84億8388万円	
特別会計	国民健康保険	21億583万円	20億4218万円
	後期高齢者医療	2億9106万円	2億8489万円
	障がい福祉サービス事業	5733万円	5570万円
	公共下水道事業	12億3602万円	11億9765万円
	学校給食事業	1億816万円	1億596万円
水道事業会計	2億1260万円	1億5712万円	
総額	129億6795万円	123億2738万円	



令和2年度



監査委員の意見（主な事項）

【一般会計・特別会計】

- ・令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍での町政運営となり、様々な諸事業が大きな影響を受け、事業の規模縮小や中止等がされている。
- ・このようなか、町民の生命、雇用、生活等を守ることを第一に、国・県補助金、国の臨時交付金の活用や町独自施策により、町民への生活支援をはじめ、事業者等への支援策や感染防止対策などの諸事業が実施されている。
- ・開かれた行政を目指し、Eメールによる配信に加えてLINEの受信が可能となった住民向けメールの配信「すべメール」や「ことうど情報アプリ」の導入、ホームページ等の情報の充実が図られ、タイムリーに情報提供が行われている。
- ・安全・安心なまちづくりのため、更新した「洪水ハザードマップ」を全戸配布し、洪水発生時の浸水想定区域や洪水から命を守る避難行動、避難場所、避難の心得などを示し、町民の防災意識の高揚に努めている。
- ・下宮34号線道路改良事業や末守西保2号線通学路整備事業を継続事業で実施し、安心安全な都市環境づくりと産業活性化基盤づくりが図られている。
- ・「GIGAスクール構想」に基づき、小中学生に1人1台のタブレット端末配付及びWiFi環境導入によるICT教育環境の充実が図られている。

【水道事業会計】

- ・水道事業は、住民が健康で快適な生活をしていくうえで、最も重要な水道水を供給していくことから、常時水質の変化に気をつけ、より良い水質の保全と、安全でおいしい水の安定供給に努められたい。
- ・給水人口は年々減少しているが、令和2年度の年間有収水量は203万1千m³で、前年度に比べ0.89%増加した。これは、コロナ禍により在宅時間が多くなり使用水量が増加したことが要因であると考えられる。
- ・今後も、一層の有収率向上を図りたい。
- ・引き続き、未納者に対して、滞納整理を計画的に実施し、未納額減少に努められたい。
- ・また、今後大幅な有収水量の増加が望めないことや、一定年数を経過した老朽管や耐震対策に伴う更新費増加が予測されることから、水道料金の改定も検討されたい。